

「みどり・市民ネット」は「●市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現●市民にわかりやすく開かれた議会をめざす●地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化●それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重し協力・協働」を基本姿勢とする超党派の6人会派です。所属議員は独自に活発に活動しています。



小金井市議会議員

2012年9月5日

片山かおるの ちょっとカエル通信

36号



おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

子どもの権利条例がある町ができること 問題解決型のスクールソーシャルワーク／里親の支援

9月議会が始まります

補正予算 貫井北町地域センターの建設 が始まります

市民検討委員会で検討が続けられた貫井北町地域センターの建設予算が提案されました。1Fが図書館、2Fが公民館の社会教育施設です。できる限りの市民参加で作られようとしています。運営がどうなるのかが不安です。

その他、武蔵小金井駅南口に設置される防犯カメラ、市内の空き家実態把握調査、環境配慮住宅型施設の新愛称に関わる経費、学校が環境配慮することで産み出されたフィフティ・フィフティ事業(光熱水費等削減還元事業)の予算なども提案されています。

空き家の実態把握は必要ですし有効活用できると思います。市が監視カメラで市民を監視する必要があるのでしょうか。甚だ疑問です。

市民協働でできた環境配慮住宅型施設「雨デモ風デモハウス」という愛称が取り下げられ公募かけられる経緯には、市行政の不手際があります。市民協働を本気で進めるのならば関わった市民の気持ちを大切にしながら取り組むべきです。

片山かおるの一般質問 9/10 13:00～

1. 子どもの最善の利益の観点から～ IBA問題解決型の スクールソーシャルワークとは？

- 1) 学芸大で行われた「小金井市における問題解決型ケース会議実践報告」について
- 2) IBA問題解決型ケース会議とは？ 小金井での実践と効果と評価は？ 子どもの意見表明権は保障されているのか？
- 3) 学芸大研究プロジェクト終了後のスクールソーシャルワークの方向について

2. なくそう!子どもの貧困～ 養護施設から里親委託の流れの中で

- 1) 2011年厚労省の里親委託ガイドラインについて。小金井での里親支援、里親募集の状況は？ 東京都や児童相談所からの要請は？
- 2) 福岡市の里親普及・支援事業などを参考に、小金井でも里親支援に取り組めないか。
- 3) 里親の村である「子どもの村 福岡」のような、SOS子どもの村をモデルとした児童養護システムが東北の被災地でも実践されようとしている。被災地支援の一環として、子どもの権利に関する条例を持つ小金井からも支援の声をあげていかないか。

議会基本条例が大詰めを迎えています。

全議員懇談会も9月中旬に三回ほど予定。10月中旬までには条例案をつくり、市民からの意見も求めています。

夏の間に、職員の給与に関する 直接請求運動が行われました。

署名数が直接請求できる数に達し提出されたので、10月中には市長の意見を附して条例提案される予定です。私はこの条例案の項目のいくつかには賛同しますが、賛同できない項目もあります。条例案の審議の中で考え方を明らかにしていきたいと思っています。

□ 松山市で行われた全国フェミニスト議員連盟夏合宿で、女性への性暴力をなくすための施策や、限界集落での若い世代の新しい暮らし方などを学び、高知県梼原町の自然エネルギー 100%を目指す町づくりなどを視察、梼原町長の話の聞きまし。町民の電気料金を0円にしようとする施策などが全国から注目されています。

□ 福岡での自治体議員政策情報センター全国政策研究会では、自然エネルギー政策や被災者支援、高齢者福祉での小規模多機能施設の活用や福岡のスクールソーシャルワークを学びました。佐賀の玄海原発オフサイトセンターと大木町の生ごみ循環町づくり、里親の集まる「子どもの村福岡」を視察。大木町は資源循環施設を町の中心に置き、素敵な地産レストランも併設。外国からも視察が相次ぐごみゼロウエストの町づくりは刺激的でした。小金井でも参考にしたいものです。

小金井からの脱原発の動き～福島支援について

小金井にも福島からの避難者の方々がいます。7月に立川でおこなった「第2回福島避難者こども健康相談会」には東京都の後援がつき、都や各自治体の担当者から避難者に直接お知らせが届きました。小金井からは直接避難者へ届けることはなかったとのこと。3月の一般質問でも聞きましたが、社会福祉協議会と市の担当が連携して、もっと避難者に寄り添った支援を充実すべきです。

現在、総務企画委員会では『原発問題に関する陳情書』が継続審議されています。「脱原発都市を宣言してほしい」「脱原発に資する取組みを行ってほしい」という陳情項目です。市長は否定はしませんが、他市のように見ながらという姿勢です。脱原発首長会議への参加も保留してい

ます。市民から脱原発の意志をもっと示していくことが市の脱原発宣言への後押しになります。市民の意志を示す方法として、市内でも4回目になる「さよなら原発! 小金井パレード」が9/16に行われます。福島原発告訴団による、東京電力幹部や役人、御用学者の責任を問う刑事告訴を求める全国告訴運動が始まっています。市内でも何か所かで説明会がおこなわれる予定です。大きな世論で私たちの住む自治体から社会の変革につなげましょう!

9/28から10/3までは決算委員会

2011年度の決算額は、一般会計歳入は428億円。歳出は415億円。

特別会計もあわせた合計額は、歳入が622億円で歳出が609億円です。

「市民にわかりやすい財政資料の提供を求める陳情書」が採択され、見やすい資料となるように工夫をしたそうです。市HPにも決算資料が掲載されています。いつも決算時に求めている就学援助について、電気料金の推移、非常勤職員の人数推移とあわせ、認証保育所や認可外保育所の保育料などの資料を求めていく予定です。



閉会中の議会日程

※原則10:00より

9/3(月) 本会議
9/4(火) 本会議
9/5(水) 本会議
9/6(木) 7(金) 10(月) 11(火) 一般質問(漢人、片山とも9/10)
9/12(水) 議会運営委員会
9/13(木) 厚生文教委員会
9/14(金) 建設環境委員会
9/18(火) 総務企画委員会
9/19(水) 予算特別委員会
9/20(木) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
9/21(金) 庁舎建設等調査特別委員会
9/24(月) 予備日
9/25(火) 整理日
9/26(水) 本会議
9/28(金) 10/1(月) 2(火) 3(水) 決算特別委員会
10/4(木) 整理日
10/5(金) 本会議

お問合せ：議会事務局：042-387-9947

片山かおるプロフィール

1966年生れ。1期目、総務企画委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、青少年問題協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員、議会報編集委員。市民自治こがねい共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、みどりの未来、福島原発震災情報センター、全国フェミニスト議員連盟、「なくそう! 子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町3-10-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
<http://katayamakaoru.net/> office@katayamakaoru.net
ツイッター： <http://twitter.com/#!/katayamakaoru>